

平成21年6月29日  
北上川ダム統合管理事務所

記者発表

## 田瀬湖水質保全施設を稼働します

田瀬湖(田瀬ダム貯水池)では、近年、天気・水温・栄養分等が複雑に絡みあうことにより、アオコの発生が見られております。その為、7月1日からアオコの発生抑制対策のため設置した水質保全施設の稼働を開始いたします。

田瀬湖では平成11年頃から、湖面にアオコ※1の発生が確認されるようになり、大量発生時には湖面一面が緑色になってしまう状況となっております。

そのため、平成19年7月1日(日)から水質保全施設※2の稼働を行っており、今年もアオコの発生抑制の為7月1日(水)から稼働を開始します。

田瀬ダム管理所では、今後もアオコ抑制のため、継続して水質保全施設の稼働を行うとともに、アオコの状態をモニタリングしていきます。

- ※1 アオコとは、湖水の窒素やリンなどの栄養分、天気、水温等が複雑に絡みあい、特定の植物プランクトン(藍藻類:ミクロキスティスなど)が異常増殖し、水面に緑の膜が浮かび上がる現象のことで発生する富栄養化現象の1つです。
- ※2 水質保全施設とは、ダム貯水池内に空気を噴出させ、鉛直方向に循環する流水により、水温を下げることによってアオコの発生を抑制する施設で、平成19年から稼働し、毎年7月1日から9月30日の間で稼働しております。
- ※ 田瀬湖に発生しているアオコは、湖面利用には影響ありません。

〈発表記者会:岩手県政記者クラブ、花巻記者クラブ〉

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局  
北上川ダム統合管理事務所 電話019-643-7831(代)  
技術副所長 鈴木 弘二 (内線204)  
管理第一課長 砂子 勉 (内線331)  
田瀬ダム管理支所 電話0198-44-5211  
田瀬ダム管理支所 千葉 茂美 (内線 21)

### アオコ発生の要因

上流域から、生活排水や農業・畜産業排水等の栄養塩類を含んだ水がダム湖に流れ込み、高い水温、長い日照時間の影響により植物プランクトンが活発となり大繁殖をします。

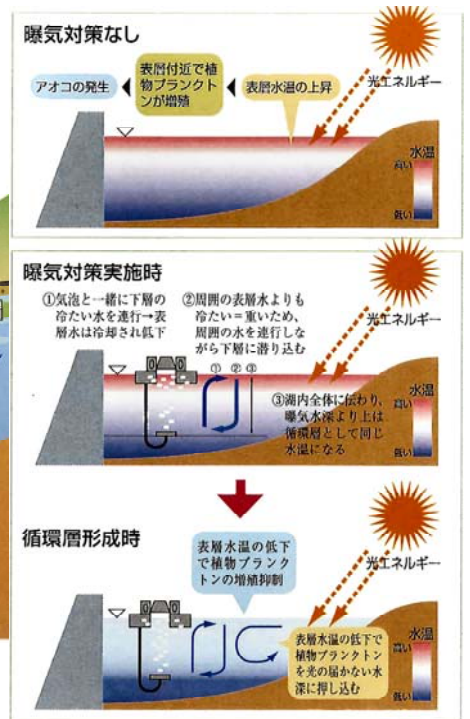
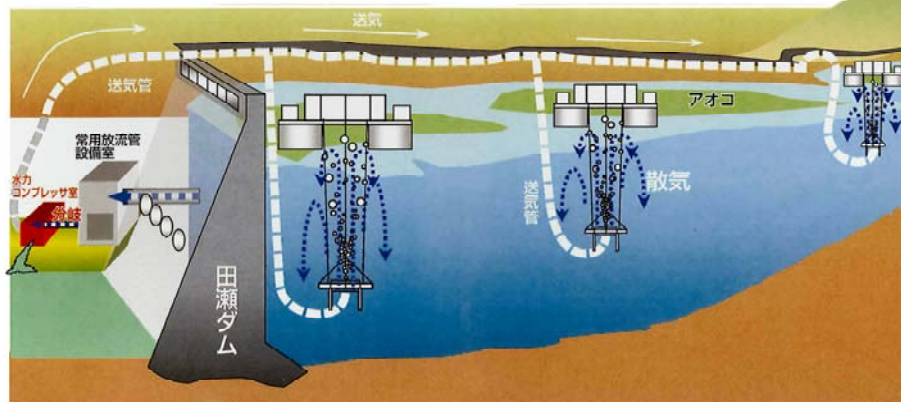
平成19年7月20日の発生状況



### 水質保全施設とは



←水質保全施設設置位置



水質保全施設とは、アオコの発生しやすいダム湖表層の高い水温の水をダム湖深部に設置した曝気装置からダム貯水池内に空気を噴出させ、鉛直方向に循環する流水により、水温を下げることによってアオコの発生を抑制する施設です。

水質保全施設は、田瀬ダムに設けられた放流設備に併設された、水力コンプレッサをダム湖に貯まった水を放流する事で動かし、圧縮した空気を曝気装置から噴出する仕組みとなっております。

水質保全施設（曝気装置）の稼働状況

